



市民の誓い 私たちは水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっけい&おあむちゃん

第2回市議会定例会

補正予算など19議案を審議

第2回市議会定例会が、6月6日に開会されました。

この日、会期を6月20日までの15日間と決めた後、人事案件3件を先議。教育委員会委員に堀哲也氏(再任)を任命、固定資産評価審査委員会委員に和田知則氏(再任)を選任、人権擁護委員候補者に野村義博氏(再任)と服部茂子氏(再任)を推薦することにそれぞれ同意しました。

その後、平成28年度一般会計補正予算など16議案が一括上程され、小川市長が提案理由を説明しました。

上程された議案は、各担当委員会に付託

され審査のうえ、最終日の本会議で採決される予定です。議決された議案は、本紙7月1日号でお知らせします。

なお、節電対策のため、本会議など市議会のすべての会議が、10月31日までエコスタイル(クール・ビズ)で行われます。

全国市議会議長会表彰の伝達

6日、定例会開会前に全国市議会議長会の表彰の伝達があり、次の方に表彰状が手渡されました。

【特別表彰】議員25年以上 高橋 滋 議員



本大会出場が決まり、紙テープで祝う応援席

都市対抗野球大会出場決定 西濃運輸 (3年連続35回目)

第87回都市対抗野球大会に、東海地区の代表として本市の西濃運輸硬式野球部が、3年連続35回目の出場を決めました。

出場を決めた東海地区第5代表決定戦は、6月6日に岡崎市民球場で行われ、球場には大勢の市民らが応援に駆けつけ、大きな声援を送りました。

本大会は、6月18日に組み合わせ抽選が行われ、7月15日から東京ドームで開幕。市民壮行会などの日程は、本紙7月1日号でお知らせします。

詳しくは、社会教育スポーツ課(☎47-8038)へ。

大垣を駆け抜けるハーフと3キロ 「おおがきマラソン2016」

おおがきマラソン実行委員会(委員長 田中良幸)は、今年度開催するマラソン大会の概要を決定しました。

このマラソンは、12月11日(日)に行われ、大垣城と墨俣一

夜城をむすんで、旧揖斐川橋梁やソフトピアジャパン、奥の細道むすびの地記念館などを巡り、多彩なまちの魅力を体感できるコースとなっています。

- \*内容/大垣駅通りを発着地点とする市街地コース(ハーフマラソンの部・3kmの部)
\*申込/8月15日から申込開始 ※詳細は、本紙8月1日号掲載、専用ホームページを閲覧
\*問合せ/同実行委員会事務局(商工観光課内、☎47-8596)へ



市は今年度から、新たな小学校英語科推進事業として、英語によるコミュニケーションの楽しさを実感できる発信型体験学習を行います。

- \*対象/市内小学校の5・6年生
\*とき/7月30日(土) 午前9時30分~午後4時
\*内容/大垣の「食」と「工芸」に挑戦しようをテーマに、ALT(外国語指導助手)とともに、水まんじゅう作りや耕作りに挑戦しながら、英語でコミュニケーションをしたり、大垣の良さをアピールしたりして、英語力の向上を図る

大垣の魅力を英語で発信!! “飛びだせ! イングリッシュ”

- \*参加料/無料(会場までの交通費は自己負担)
\*定員/40人(抽選)
\*その他/今後は、8・10・11月、平成29年1月に開催し、その都度本紙に募集記事を掲載予定
\*申込/6月17日頃に各小学校を通じて配布する申込用紙に、必要事項を記入して、7月8日(必着)までに郵送またはファクスで、学校教育課(〒503-0888 丸の内2-55、FAX81-2655)へ
\*問合せ/同課(☎47-8034)へ

6月15日号 主な内容

- ▶参議院議員通常選挙、介護保険減額認定の更新手続きなど...2~3P
▶大垣暮らしの補助制度、子育て情報など...4~5P
▶催しのお知らせ、街のアーティストフェスタなど...6~7P
▶特集:生ごみ減らして資源に変えよう、市民伝言板など...8~9P
▶健康ガイド...10~11P
▶水まんじゅうづくり、ハナハスマつり、消防操法大会など...12P

大垣まつりが全国の、そして世界の祭りになってきました。今回のにぎわいを受け、県内の高山祭や古川祭とも連携し、秋に熊本県八代市で行われる山・鉾・屋台保存連合会全国大会と八代妙見祭にも参加して、11月末頃のユネスコ登録に向けて機運を盛り上げてまいります。



大勢で賑わう八幡神社前

今年の「大垣まつり」は、5月14日に試楽、15日に本業が行われ、3年連続で先づれからの4日間とも晴れとなりました。昨年、国重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産登録候補になったのを、天候も後押しするかのようです。今回は、ユネスコ登録に向けて関心を高めるために、祭りまでの間、東京駅と新大阪駅、そして名古屋駅で、デジタルサイネージで動画広告を放映しました。さらに名古屋駅ではPRキャンペーンも行い、新たなポスターも掲示しました。祭り当日には、同じくユネスコ登録候補となっている全国の山・鉾・屋台行事をもつ12都市から首長や祭り保存会の皆さんにも来ていただきました。東西文化が融合し、13両の軸それぞれに個性のある興味深い祭りであると感心して帰られました。また、新たにフレンドリーシティとなったオレゴン州ビーバートン市の姉妹都市諮問委員の方々も参加され、楽しんでいかれました。こうしたPR活動により、今年の大垣まつりは2日間で31万人もの人出があり、過去最高となりました。県外からも多くの観光客が訪れ、まさに大垣まつりが全国の、そして世界の祭りになってきました。

大垣まつりに31万人



市長のながさきメール 大垣市長 小川 敏